

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和3年2月26日
北陸信越運輸局

評価対象事業名:地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点	
五泉市地域公共交通活性化協議会	泉観光バス株式会社 みどりハイヤー株式会社	ごせん乗合タクシー「さくら号」(五泉東エリア)	<ul style="list-style-type: none"> 市の広報で市民全般に公共交通のPRを実施した。 高齢者を対象とした利用促進活動を継続実施した。(免許返納高齢者への制度説明) 予約お断り削減に向け、運行時間の見直しを検討した。 	A 計画通り事業は適切に実施された	C 輸送人員の目標値である前年比100%以上に対し、91.8%であり目標を達成できなかった。利用者の減少は主に新型コロナウイルス感染予防である外出及び公共交通機関の利用自粛によるものだと想定される。	<p>新型コロナによる利用者の不安を払しょくできる環境づくりとその周知を実施する。</p> <p>また、利用者数の少ない朝夕の便を廃止し、これまで要望のあった11:30～12:30便を創設することで、運行の効率化を図り、予約お断り件数削減に努める。</p>	協議会における事業評価結果の③及び④については自己評価のとおりである。なお、⑤の目標・効果達成状況については、新型コロナウイルス感染症の影響以外の観点からも目標が達成されなかった理由について分析し、これを明らかにする必要がある。その上で、⑥の事業の今後の改善点については、目標が達成されなかった理由に対応した改善策及びその具体化について改めて検討し、その実施について地域一体となって適切に進めていくとともに、今後も適切な検証を行い、地域公共交通の持続性向上や利用促進が図られるよう期待する。
	(株)フラワー観光 泉観光バス株式会社 みどりハイヤー株式会社	ごせん乗合タクシー「さくら号」(五泉西エリア)	<ul style="list-style-type: none"> 市の広報で市民全般に公共交通のPRを実施した。 高齢者を対象とした利用促進活動を継続実施した。(免許返納高齢者への制度説明) 利便性向上へ向け、オペレーターの常駐時間を延長し、ドライバーとの適切な連携を図った。 予約お断り削減に向け、運行時間の見直しを検討した。 	A 計画通り事業は適切に実施された	A 輸送人員の目標値である前年比100%以上に対し、110.0%を達成した。	<p>新型コロナによる利用者の不安を払しょくできる環境づくりとその周知を実施する。</p> <p>利用者数の少ない朝夕の便を廃止し、これまで要望のあった11:30～12:30便を創設することで、運行の効率化を図り、予約お断り件数削減に努めると共に、今後も利用者数を維持するため、利用促進や利便性向上に努める。</p>	協議会における事業評価結果の③から⑥までについては自己評価のとおりであり、具体的な改善策の実施について地域一体となって適切に進めていくとともに、今後も適切な検証を行い、地域公共交通のさらなる持続性向上や利用促進が図られるよう期待する。

協議 会名	①補助対象 事業者等	②事業 概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果
			③前回(又は類似事業)の事業 評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の 改善点	評価結果
五泉市地域 公共交通活 性化協議会	泉観光バス ㈱ みどりハイ ヤー㈱	ごせん乗合 タクシー「さ くら号」 (村松エリ ア)	<ul style="list-style-type: none"> ・市の広報で市民全般に公共交通のPRを実施した。 ・新設の五泉中央病院へのアクセス手法について、基幹バスと組合わせた案内チラシを関係施設へ配布した。 ・高齢者を対象とした利用促進活動を継続実施した。(免許返納高齢者への制度説明) ・利便性向上へ向け、オペレーターの常駐時間を延長した。また、オペレーターとドライバーとの意見交換を実施し、連携強化とマナー向上を図った。 ・予約お断り削減に向け、運行時間の見直しを検討した。 	A 計画通り事業は適切に実施された	C <ul style="list-style-type: none"> 輸送人員の目標値である前年比100%以上に対し、93.8%であり、目標を達成できなかった。 利用者の減少は主に新型コロナウイルス感染予防である外出及び公共交通機関の利用自粛によるものと想定される。 	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナによる利用者の不安を払しょくできるような環境づくりとその周知を実施する。 また、利用者数の少ない朝夕の便を廃止し、これまで要望のあった11:30～12:30便を創設することで、運行の効率化を図り、予約お断り件数削減に努める。 	協議会における事業評価結果の③及び④については自己評価のとおりである。なお、⑤の目標・効果達成状況については、新型コロナウイルス感染症の影響以外の観点からも目標が達成されなかった理由について分析し、これを明らかにする必要がある。その上で、⑥の事業の今後の改善点については、目標が達成されなかった理由に対応した改善策及びその具体化について改めて検討し、その実施について地域一体となって適切に進めていくとともに、今後も適切な検証を行い、地域公共交通の持続性向上や利用促進が図られるよう期待する。